



2011～2012 年度  
国際ロータリー会長  
カルヤン・パネルジー

# Weekly Report Niigata



2011～2012 年度  
新潟ロータリー会長  
佐藤 紳一



心の中をみつめよう  
博愛を広げるために

2011～12 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 7 月第 2 例会 (2011.7.12) No.2904

## (1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

## (2) 佐藤 紳一会長挨拶

### 7 月 1 2 日 第 2 回 七夕

織姫星 (ベガ) と夏彦星 (アルタイル) は七夕の頃に最も接近し、銀河をはさんでひとときわ輝きます。「星迎え」「星の契り」「星の恋」「星の別れ」という言葉がそこから生まれました。

天帝 (みかど) の娘は機織りの上手な娘であり、夏彦も又働き者であり、天帝は二人の結婚を認め、めでたく夫婦となります。しかし新婚生活が楽しくて、織姫は機を織らなくなり、夏彦は牛を追わなくなり、このため天帝は怒り二人を天の川を隔てて引き離しました。

ただ、自分の可愛い娘でしたので、天帝は 1 年に 1 度 7 月 7 日だけ会うことを許し、カササギが天の川に橋を架けてくれたので、会うことができました。

ところが、7 月 7 日に雨が降ると天の川の水かさが増し、織姫は渡ることができず、夏彦も彼女に会えません。七夕の夜は二人にとって 1 年に 1 度の逢瀬だから、雨が降らないように祈りますが、会えないこともあります。この日に降る雨は催涙雨と呼び、織姫と彦星が流す涙と言われます。

また星の逢瀬であることから、七夕には星あい(星合)という別名があり、香道ではこの話に基づいた「星合香」という遊びがあります。まずけん牛を織女という名の付いた二種の香木を聞き香りを覚えます。続いて他に別の五種の香木を加え七種として、順次聞いてどれがけん牛と織女なのかを当てます。両方当たれば「星合」。先に出た方だけ当てると「暁の雨」後の香りだけだと「宵の雨」二つとも当たらなければ「大雨」です。

ちなみに香道では香りを嗅ぐとは言わずに聞くといひます。

## (3) 委員会報告

・ 匝瑳 繁夫 社会奉仕副委員長

7 月 2 4 日 (日) 早朝海岸清掃を行います。6 : 2 0 関屋金衛町浜、光海亭前集合 6 : 3 0 ~ 7 : 3 0 清掃後、朝食の用意を致します。是非、ご参加願います。

## (4) 幹事報告 (高橋 秀松 幹事)

例会後、青少年育成基金プロジェクト委員会を 4 階雪椿の間で開催致します。

## (5) 事業計画の発表

- 1 ニコニコ 玉 知夫
- 2 社会奉仕 細野 義彦
- 3 国際奉仕 柴田 史郎
- 4 R 財団 石井 和弘
- 5 米山奨学 小島 国人
- 6 青少年交換 織戸 潔
- 7 RA 横村 正一
- 8 IA 若槻 良宏
- 9 ライラ 関川 博信
- 10 青少年育成基金管理 小柳 実

## 7 月 1 9 日の例会予定

世界大会参加報告 小山 楯夫 地区幹事

ホームページを新年度版に更新致しました!

新潟ロータリークラブ ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>